

こもろ 市議会だより

3月定例会

No. **174**
平成 30.4.25



“君もおいでよ！”「信州子ども食堂inこもろ」（相生会館）

平成30年度
予算を可決

主な内容

- 平成30年度予算と
3月定例会の概要 …………… 2～5ページ
- 常任委員会報告 …………… 6～7ページ
- 一般質問 代表質問(5名)
個人質問(9名) …… 8～16ページ
- 「議会と語る会」
提言の回答 …………… 17ページ
- ぼいす「信州子ども食堂inこもろ」・
傍聴席・編集後記 …………… 18ページ

30年度予算を可決する

定例会の概要

平成30年第1回3月市議会定例会が2月26日から3月23日までの26日間の日程で開かれました。本定例会では、市長から平成30年度一般会計予算のほか、補正予算、条例改正等53件が提案されました。このほかに議員提出議案が2件ありました。議員から平成30年度一般会計予算に対して修正案が提出されましたが、賛成少数で否決され、結果、55議案すべてを原案可決・同意しました。

平成30年度 特別会計・公営企業会計の主な予算







【特別会計予算】

国民健康保険事業	43億8,900万円
後期高齢者医療	4億5,400万円
介護保険事業	38億6,200万円
小諸公園事業	1億3,200万円
奨学資金	692万円
野生鳥獣商品化施設運営事業	1,750万円

【公営企業会計予算】

水道事業	収益的支出	9億1,026万円
〃	資本的支出	5億3,264万円
公共下水道事業	収益的支出	11億8,047万円
〃	資本的支出	10億6,329万円
農業集落排水事業	収益的支出	3億3,820万円
〃	資本的支出	1億453万円

政策別の支出状況（市民一人当たり 395,765円の支出になります）

<p>子育て・教育 31億705万円 一人当たり 72,934円 (前年度比 19,298円増)</p> 	<p>環境 16億446万円 一人当たり 37,662円 (前年度比 ▲1,198円減)</p> 	<p>健康・福祉 49億1,968万円 一人当たり 115,483円 (前年度比 ▲31,844円減)</p> 
<p>産業・交流 17億257万円 一人当たり 39,965円 (前年度比 8,685円増)</p> 	<p>生活基盤整備 20億7,126万円 一人当たり 48,620円 (前年度比 7,760円増)</p> 	<p>協働・行政経営 34億5,498万円 一人当たり 81,101円 (前年度比 928円増)</p> 
<p>(内)借入金返済 13億7,290万円 一人当たり 32,227円 (前年度比 ▲6,596円減)</p>		

※人口42,601人で計算（平成30年3月1日現在外国籍住民を含む）

人事

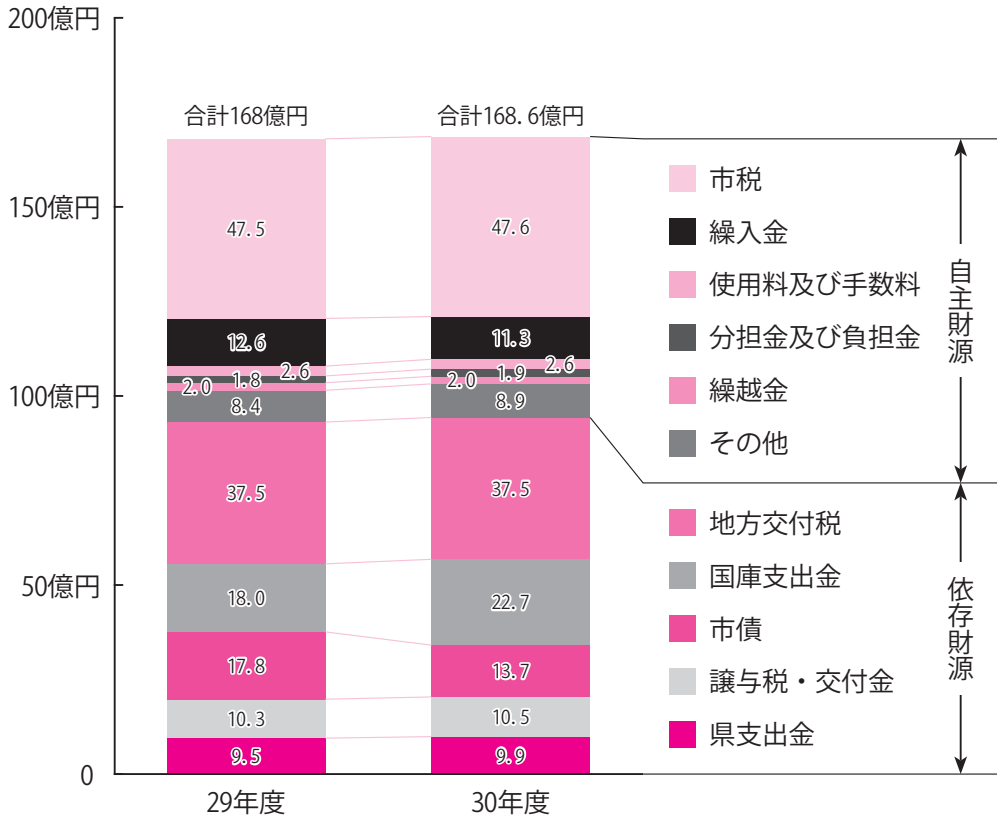
任期満了に伴う小諸市等公平委員会委員の選任について同意しました。

●小諸市等公平委員会委員
渡邊 頼雄 氏（六供）

任期は平成30年4月1日から平成34年3月31日までの4年間です。

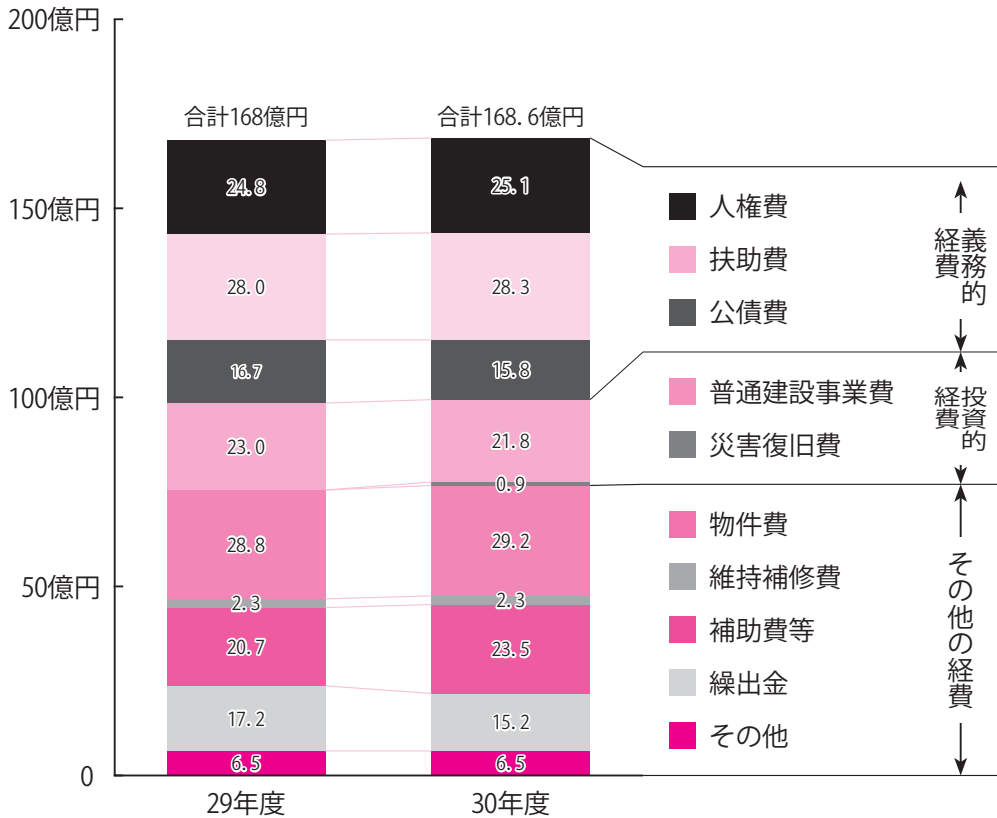
一般会計予算 昨年度との比較

歳入



- 自主財源の全体に占める割合は44.1%、前年度比0.5%の減で、ほぼ前年度同様の構成比です。
- 依存財源では、事業実施に伴う特定財源として、国・県支出金が増え、市債の借入額は減少しています。

歳出



- 人件費を含む義務的経費全体では、前年度比0.4%の減となっています。
- 御影用水災害復旧事業費を含む投資的経費全体では、前年度比1.5%の減となりました。
- その他の経費では、農業集落排水事業の公営企業会計移行に伴う歳出費目の組替え等により、繰出金が減、補助費が増となっています。

一般会計予算 特別会計予算 企業会計予算

168億6,000万円 89億3,660万円 41億2,940万円

を可決

29年度補正予算9件 30年度当初予算17件 予算議案の審査

3月7日に予算決算委員会を開催し、付託された案件について、より詳細な審査を行うため、総務文教、福祉環境、経済建設の3分科会へそれぞれの所管事項の審査を付託し、3月9日から16日までの6日間に会議を開催し、それぞれ審査を行いました。

予算決算委員会報告

分科会委員以外の委員

も会議に参加し、質疑・意見を述べることで、活発な審査ができました。

3月20日に委員会を開催し、各分科会長から審査内容についての報告を受け、それぞれ質疑、意見、討議、討論を行い、採決を行いました。

平成30年度一般会計予算については、2件の修正案が提出されましたが、採決の結果否決され、全ての予算が原案通り可決されました。

平成29年度一般会計補正予算に対する意見

・「あぐりの湯」改修について

休業期間については市民等への周知と、直売所への納品者に支障が生じないよう配慮を求めます。

平成30年度一般会計予算に対する意見

・消防庁舎建設について
周辺施設等への環境や防音等に十分な配慮を求めます。

・防災訓練について
各区には、自主防災組織を中心にした年一回程度の訓練の実施を働きかける

とともに、自主防災組織のない区に対しては、組

織立ち上げの働きかけと支援を求める。

・長期学校改築計画策定について

今回、長寿命化個別計画策定委託料が計上されている。各小学校区で行われる長期学校改築計画策定の説明会では、丁寧な説明と、混乱のない対応を求める。

・解放子ども会について

様々な差別がある中で、特別扱いする解放子ども会は解散すべきである。

・高齢者タクシー助成について

デマンド交通開始までのつなぎの事業であったため、30年度で終了となるが、高齢者への配慮を行うよう検討を求めます。

・放課後等デイサービスについて

2施設で実施されるため、事業者間の連携が図れる支援を要望する。
ひまわり園については地域に溶け込めるような

配慮を求める。

・地域医療体制の整備について

こもろ医療センターの医師確保については引き続き病院との連携に努め、休日や夜間診療等の病診連携についても研究、検討を求める。

・同和団体への補助金等について

補助金等については、その目的、目標を設定し、有効に使われているかの評価をおこなうべきであり、義務的経費として一括りにすべきではない。

・旧脇本陣について

当初の開業予定は平成31年4月1日だが、工事の予定がかなり遅れている。着実な進捗と1日も早い開業を希望する。

・空家対策について

20件が特定空家等に判定され指導を行っているようだが、危険建物を中心的に確かな指導を求める。
・常盤橋架け替えについて

歴史的、文化的価値のある橋なので、極力原型を留める工夫を希望する。



常盤橋

・複合型中心拠点誘導施設について

30年度は道路整備に係る予算が計上されている。施設の基本設計策定にあたっては、併設が検討されている福祉施設の利用者の要望等を把握すること、また、市民説明会で出されている様々な意見等ができる限りその反映に努めることを求める。

修正案について

早川委員提出の修正案
同和関連予算は差別解消につながるため、486万1千円は削減し、一

3月定例会概要

旦予備費に入れておき、福祉・教育など公平性のあることに振り向けるべきである。

反対討論（山浦委員）

部落差別が解消されていない現状から、行政の支援は重要であり、妥当な予算である。

賛成討論（掛川委員）

特別扱いは逆差別を生み、真の差別解消につながらない。行政運営は市民に公平に行うべきだ。

中村委員提出の修正案

複合型中心拠点誘導施設整備関連予算3億3千万円は、市民説明会が多くの地区で未実施で、市民への丁寧な説明と聞き取りが必要なことから、現段階では認められない。

反対討論（高橋委員）

議会が求めた説明会は行われている。国への交付金申請には、当初予算での可決が必要である。

反対討論（竹内委員）

優良企業の誘致と福祉

施設を併設する構想であり、白紙になれば大きく市民益が損なわれる。

平成30年度国民健康保険特別会計予算

・国保制度改正による市民への影響は少なく、税率改正もほぼないということだが、税率改正をせざるを得ない場合は、市民への周知と丁寧な説明を求める。

平成30年度小諸公園事業特別会計予算

遊園地のロードトレインの早急な検討と、遊園地・動物園内の休憩所や飲食施設など、集客のための工夫を求める。

平成30年度小諸市水道事業会計予算

公民連携事業に移行するためのパートナー企業選定予算が計上されているが、市民に指定管理で運営されることの周知を求める。

予算決算委員会の設置

【予算決算委員会 正副委員長長の選任】

議長を除く全議員で構成する予算決算委員会を設置されました。定例会初日の委員会では、互選により正副委員長が選任されました。

予算決算委員長

柏木博美 議員

予算決算副委員長

相原久男 議員

本会議における討論

【一般会計当初予算案】

人権政策費及び人権教育費に対して修正案が提出され、次のとおり討論がありました。修正案に対する採決の結果は、賛成少数で原案可決となりました。（各議員の原案に対する表決結果は、下記の表のとおりです。）

賛成討論（掛川剛議員）

同和差別はあらゆる人権差別の一つとして捉え、特別扱いせず差別解消の方策を講じるべき。

小諸市の人権政策の指標は差別や偏見など人権を侵害された人の割合とある。その値が低くなれば市民の人権意識が高まったと推測できる。

事業実施主体は市であり、指標の設けられない同和団体への補助金等は認められない。

反対討論（山浦利夫議員）

人権政策費における運動団体に対する委託料・補助金及び人権同和教育費の解放子ども会の活動に係る予算は、部落差別が現存する限り必要であると考える。

いまだ部落差別の解消が図られていない現状からは、行政の責務として引き続き取り組みが求められる適正な予算編成であり、認めていくべきものと考えます。

議案に対する表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。◎は賛成、⊖は反対を表しています。議長は表決に加わりません。

議案名	会派名		創正会		市誠会		日本共産党		新政会		公明党		改革の嵐						
	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名					
議案2号 平成30年度小諸市一般会計予算	竹内健一	相原久男	田中寿光	依田善典	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	柏木博美	早川聖	掛川剛	清水喜久男	中村憲次	神津眞美子	柏木今朝男	土屋利江	小林重太郎	福島鶴子	林稔
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⊖	⊖	⊖	◎	⊖	◎	◎	◎	◎	◎	◎

委 員 会 審 査

議案審査にあたり各常任委員会で出された 主な質疑と答弁をご報告します



廃止の決まった郷土博物館

3月9・12日

総務文教 委員会

報告

小諸市郷土博物館条例を廃止する条例を可決

小諸市郷土博物館の再開が見込めないことから、条例を廃止します。

質疑 収蔵品の利活用

はどのように考えているか。

答弁 昨年1月から市

役所ロビーで3か月ごとにテーマを替えて展示している。今後、他の場所での展示も検討していきたい。

小諸市総合体育館等の指定管理者の指定についてを可決

小諸市総合体育館等4施設の指定管理期間の終了に伴い、小諸市和田体育館を含めた5施設の指定管理者を(株)セイウンに指定するものです。

質疑 審査において、

応募のあった2団体によるプレゼンテーションの内容には大きな差があったのか。

答弁 個々の評価項目

には大きな差はなかったが、総合的に判断して決定した。

小諸市市税条例の一部を改正する条例を可決

法人が国の法律に基づいて取得した建物に関する固定資産税について、課税免除とするための規定を追加するものです。

質疑 適用日が平成30年1月1日となっているが既に該当する企業はあるか。

答弁 県の承認を受けている企業が1社ある。

このほかに4企業が対象となる可能性がある。

3月13・14日 福祉環境 委員会 報告

小諸市介護保険条例の一部を改正する条例を可決

介護保険料の見直しに伴う変更等、所要の改正を行います。

質疑 介護保険料を改

定するに当たり考慮したことはあるか。

答弁 積立金を2億円

投入して、介護保険料の上げ幅を抑制した。今後とも介護予防教室等で重

化を予防し、要介護認定者を増やさないことを目指して給付費の抑制を図りたい。

小諸市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を可決

関連省令の公布に伴い条例の一部改正を行います。

質疑 介護保険施設に

おいての身体拘束については、適正に行われているか。

答弁 自傷、他害の恐れがあるなどやむを得ない場合、一時的に身体拘束する際は適切な対応を行うこととしている。この条例改正により基準をより厳しくし、虐待となる身体拘束を防ぐ取り組みをしていくことになる。

小諸市指定居宅介護支援等の事業の従業者及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例を可決

関連省令の公布に伴い条例の一部改正を行います。

質疑 附則第2項の経過措置とはどのようなものか。

答弁 介護支援専門員

を主任介護支援専門員に改めるための経過措置が3年あり、その期間に体制を整えてもらうことになる。



3月15・16日
**経済建設
 委員会**
報告

**御影用水越流に関する
 和解についてを可決**

御影用水越流に関して、2件の相手方に対する和解が成立しました。

これまで、現状復旧での賠償を前提に交渉を進めてきましたが、財政的・時間的メリットを総合的に勘案し、御影用水管理用地及び法面復旧に必要な用地として購入することとしました。うち、1件については、相手方の申し出により建物込みで購入しました。

質疑 買取価格に、建物解体費用は含まれているのか。

答弁 含まれていない。



御影用水越流箇所の法面復旧工事

小諸市農村資源活用交流の指定管理者の指定

あぐりの湯こもろの指定管理期間が終了することから、指定管理者を佐久浅間農業協同組合に指定するものです。

質疑 経費の負担区分

等協定の見直しについて意見を述べてきたが、新協定への反映はどうか。

答弁 協定内容については、大規模改修が終わった平成31年度に見直す予定である。

**議会と語る会を開催します
 参加をお待ちしております**

小諸市議会では、議会の活動や市政の課題等を共有するとともに、市民の皆様から議会や市政に対する提言、意見等をお聞きし、小諸市の発展に活かすため、議会と語る会を開催しています。今年度は下記の日程で開催します。お気軽にご参加ください。

議会と語る会

テーマ 「複合型中心拠点誘導施設について」

開催日時	会場	対象地区
5月9日(水) 19:00~	諸公民館	大里
5月10日(木) 19:00~	J A 佐久浅間 北大井店	北大井
5月11日(金) 19:00~	久保公民館	川辺
5月12日(土) 13:30~	市民交流センター 2階	全地区対象 (中央)
5月14日(月) 19:00~	J A 佐久浅間 三岡店	三岡
5月15日(火) 19:00~	みはらし交流館	西小諸
5月16日(水) 19:00~	和田研修センター	南大井

**次回定例会のご案内
 傍聴をお待ちしております**

6月定例会の予定をお知らせします。予定のため変更となる場合があります。会議時間は概ね9時からとなります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

次回6月定例会の日程(予定)

月	火	水	木	金	土	日
6 / 4	5	6	7	8	9	10
本会議 (提案説明等)						
11	12	13	14	15	16	17
		本会議(一般質問)				
18	19	20	21	22	23	24
総務文教 委員会 分科会	福祉環境 委員会 分科会	経済建設 委員会 分科会				
25	26	27	28	29	30	7/1
予算決算 委員会			本会議 (委員長報告等)			

一般質問

代表質問 5名

個人質問 9名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」をチェックするために行うもので、代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派の代表者が質問するもので、3月・9月及び市長の改選後の初の定例会で行われます。

個人質問は、議員個人が質問するもので、1人1時間の持ち時間内で行政とやり取りが行われます。



自主財源の確保と健全財政の維持はどうか

新政会 代表 清水喜久男

質問

担税力の低い小諸市にとって雇用促進につながる企業誘致は重要な課題である。企業を誘致するための産業団地造成の計画はどうか。

市長

現在市として整備された区画がなく、近年の景気回復傾向に伴い土地の引き合いも増加している。来年度は産業団地等の開発実績のある業者に委託し、場所の選定と事業実施方法など開発プランを作成し、実現可能な区画、面積を描き早期確保に努める。

質問

小諸市にとって懐古園は観光の宝である。懐古園運営委員会より再整備等に対する答申を受けての将来構想計画はどうか。

市長

小諸動物園の目指す姿、再整備として①動物園の再整備に向けた将来構想の策定②再整備に向けた財源確保と組織体制の整備③再整備後の健全な運営に向けた体制の構築という三つの要望事項が示さ

れたので、将来構想を策定するた

め国の地方創生推進交付金を活用し、来年度より動物園の地形等の調査を行い、崖への安全対策の手法や現在地での獣舎整備の可能性を検討する。また、遊園地や周辺施設のあり方を専門家を含めた検討組織により二年程度のスケジュールで全体構想を策定する。

質問

道路橋梁費（市道整備・維持補修工事）と地区要望額との整合はどうか。

市長

市民生活に密着した整備事業は交付金を活用し長寿命化計画等に基つき整備を進めている。市単独事業は各区より3カ所申請して頂いており、全体件数で200件、全体の試算で13億円である。緊急性、必要性の高さ、経済効果等を評価し、市内全体での優先順位を決めて進めている。（予算は1.5億円余）

質問

私の住む御影は、小諸の端で農業地域であったが、国道のバイパ

スやビューラインの開通により発展した地域であり、道路整備の重要性を感じる。佐久平駅西から市区への道路整備を望む気運も高まり推進協議会が設立され、整備要望された場合の市の対応はどうか。

建設部長

要望については引き続き地元と協議すると共に、具体的に佐久市建設部と打ち合わせを行う。

質問

小学校の児童が適切な規模、環境で義務教育を受けることは児童の権利であり、親や地域の利害で統廃合を判断すべきではないと考えるが、この点はどうか。

教育長

子どもにとって望ましい教育環境を学校改築計画検討会より提言されているので丁寧に説明したい。



工場建設が進む和田工業団地



平成30年度施政方針・予算案を受けて
市誠会 代表 山浦利夫

質問

少子・高齢化や急激な人口減少社会に入り、行財政環境も厳しい中、今まで以上に市長のリーダーシップが大変重要だ。市長の考えはどうか。

市長

適切なリーダーシップをもって市政経営に当たらなければ、この難局は乗り切れないという思いで市長に就任した。これからも初心を忘れずに取り組んでいく。

質問

新たな産業団地の造成が重点施策として示されたが、候補地選定の考え方はどうか。

経済部長

今年度は、関係課の意見や企業のアンケートによる意見を聞く中で適地を数か所に絞った。

来年度は実績のある専門業者に委託をし、事業の可能性の評価や土地利用計画など詳細なプランを作成して進めていく。

質問

新たな産業団地は小諸市の将来

を見据えた中で、戦略をもって進めることが大変重要と考える。推進体制として、プロジェクトを設置して進めていく考えはあるか。

市長

今のところ組織横断的な対応を第一義的に考えている。

今後、より具体化していく中でプロジェクトが必要となれば対応していきたい。

質問

長期学校改築検討会から、計画のたたき台となる提言書が教育委員会に提出されたが、市民への説明会や今後の進め方についてのどのように考えているか。

教育長

4月から小学校区ごとに説明会を開いて、市民の理解をいただきながら合意形成を図っていききたい。

質問

健全財政の取り組みについての考え方はどうか。

市長

計画・予算・実施・評価が連携した行政マネジメントシステムの

着実な運用を図り、事業の選択と集中を行い、事業の見直しや経費の削減を継続的に行っていく。

また、歳出の削減だけでなく、自主財源を確保・強化するための取り組みを積極的に進めていく。

質問

職員が増やせない中、業務の間委託についてどう考えるか。

総務部長

限られた人員や予算の中で市民サービスを低下させないことが重要であり、行財政改革の中で民間の活用、アウトソーシングは進めていく内容だと考えている。

質問

農業用水利施設など、土地改良施設の老朽化対策はどうか。

市長

平成32年度までにインフラ寿命命化個別施設計画を策定し、計画的かつ効率的に維持管理や施設の更新を行っていく必要がある。

質問

単独道路改良等の予算を増やし、計画的に対応いただきたいと考えるがどうか。

市長

一定のルールは守りつつ、状況に応じて柔軟な対応も出来るよう

な財政運営に努めていく。

質問

上水道の供給において機能が十分でなく、生活に不便をきたしている状況への対応はどうか。

環境水道部長

それぞれの事情や優先度を判断して取り組んでいきたい。

意見

我々市誠会は、小諸市が持続可能な自治体として生き残っていくためには、商業を含めた中心市街地の魅力の再生は不可欠だと考えている。複合型中心拠点誘導施設整備構想については、市民の皆様への丁寧な説明はもちろん、手続きや進め方等についてももしっかり検討して進めていただきたい。





平成30年度施政方針を問う

創正会 代表 田中寿光

質問

「小諸ふるさと遺産」認定事業と「旧小諸本陣」解体復元工事等どのように進めていくか。

市長

文化財の指定制度とは別の枠組みの「小諸ふるさと遺産」認定事業は、大切な地域資源を後世に伝えていくことを目的としている。

地域や市民の皆さんが大切に守ってきたものが、公に価値や意義等を認められるという意識を持つことにより、以前より増して誇りに思い、自慢し、大切にし、未来へつなげていくことが期待される取り組みと考えており、現在制度設計を終え、来年度からスタートできよう準備を進めている。

次に「旧小諸本陣」解体復元事業は、貴重な文化財を長く後世に伝えるとともに、町なかの観光の拠点としても活用することを目的としている。来年度は、今後実施する建物や遺構の学術的調査、設計、解体、復原、防災設備、管理設備の工事等をいつ、どのように

行うかといった全体計画づくりを専門業者に委託して行う予定。

質問

ごみの適正な分別や減量化の推進状況はどうか。

市長

本市では、減量対策の一環として平成27年度から「ごみ減量アドバイザー制度」を創設し、環境学習の場として位置付けている「グリーンヒルこもろ」において、視察や見学に訪れた小学生や、各種団体の皆さまを対象に、ごみの適正な分別や減量することの重要性について啓発をしている。

事業系のごみの減量化を目的に本年1月に開催した事業系一般廃棄物の登録業者向けの説明会においても、ごみの適正な分別や減量化、環境ISOやエコアクションなどの積極的な取り組みについても啓発を行った。

質問

地域包括ケアシステムの取り組み強化が必要と考えるがどうか。

市長

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に向け、これまで様々な取り組みを進めてきた。現在策定中の第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画では、自立支援、重度化防止のための取り組みの目標を定め、その実績を評価しながら、システムのさらなる推進を図っていく。

質問

企業立地の推進に向けた環境整備をどのように進めるか。

市長

今年度は、担当課を中心に関係課からの意見や企業ニーズを聞く中で、産業団地の造成候補地を絞り、来年度、実績のある専門業者に委託し、事業の可能性の評価から事業手法、事業経費、土地利用計画等の詳細なプランを作成していきたいと考えている。

質問

多極ネットワーク型コンパクトシティの推進にあたり、重要と考えていることは何か。

市長

特に重要なことは、高齢化社会の進展に対応するため、各地域を結ぶコミュニティバスである「こもろ愛のりくん」「愛のりすみれ号」をはじめとする公共交通の充実である。

質問

区・市民活動団体等の連携を進めるパイロット事業をどう進めていくか。

市長

市民活動ボランティアサポートセンターで開催する交流活動において、ボランティアの皆さんや、区長・区役員の皆さんと地域の課題について話し合っていく事業を計画している。パイロット的な取り組みの情報を共有し、新たな広がりや、次のステップのきっかけにしていきたい。



代表質問



だれ一人取り残さない持続可能なまちづくり

公明党 代表 柏木今朝男

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を生かし持続可能な小諸市であり続けるために、SDGs17の目標のうち目標3「すべての人に健康と福祉を」と目標4「質の高い教育をみんなに」の観点から質問する。

質問

高齢化の更なる進展を考えれば、医療、介護、住まい、生活支援サービスを地域の中で一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築が急がれる。このシステムの構築は、医療や福祉に留まらず、住宅や経済、雇用、交通、子育て支援など持続可能なまちづくり全てに繋がるものであり、小諸市にとっての一番の総合政策と考えるが見解を問う。

市長

小諸市が安心安全で、皆が人権を尊重し支え合う社会を作っていくために、この高齢者福祉を中心としたサポートシステムが大切であり、小諸市が持続可能な社会、地域になるよう努力していきたい。

質問

がん検診受診率向上対策と共に、特定健診に胃がんの原因となるピロリ菌の有無を調べるリスク検診の導入や、若い世代のピロリ菌除菌が特に効果が大きいことから、中学生を対象にピロリ菌検査の実施について、以前から提案しているがどうか。

民生部長

現在、国としても検討しているので、状況を見ながら対応したい。

質問

受動喫煙対策について、条例改正等も含め「小諸市民のだれも加害者にも被害者にもさせない」という考え方が基本ではないか。

市長

そのとおりで、特に、子どもの受動喫煙は大変深刻だ。徹底して被害のないようにしていきたい。

質問

子どもの発達段階に応じた健康な生活を送るための基礎となる知識や健康の大切さを学ぶことは意義深い。がんに対する理解や、が

ん患者とその家族など、がんと向き合う人々に対する正しい理解を深めるための子どもたちへの教育はとても大切なことだが、学校でのがん教育の考え方はどうか。

教育長

各学校で手引書に基づく学習や外部講師による取組みをしている。

質問

教育費、特に保育料の負担軽減は、子育て世代の大きな願いであり、少子化の克服、定住促進にも繋がる未来への投資である。国の動向も踏まえ、幼児教育の無償化が本格実施となるまでの間、更な



市民意見の反映が実感できる市政運営を

日本共産党 代表 柏木博美

質問

小諸市はまちづくりの羅針盤として、平成22年4月施行の小諸市自治基本条例で策定が義務付けられた基本構想・基本計画を基に市政運営を行っているが、ほとんどの市民は知らない。

様々な事業を進めるに当たって「参加と協働」の視点を持った市政運営は行われているのか見えてこない。

る負担軽減を目指す考えはないか。何が有効な支援策で、未来への投資となるのか精査し検討したい。

市長



がん検診を受けよう!!

どのように捉えているのか。

市長

自治基本条例の実践と並行し、「地域別まちづくり方針」の実現に向け、各地域の特性を生かした取り組みが行われている。

職員自らも条例の趣旨を十分理解し、業務を実践するための指針となるガイドラインを策定した。それに基づき事業を進めたいと考えている。

質問

中心市街地での「複合型誘導拠点施設整備」について、総額29億円の事業構想が昨年12月に公表され、第一回目の市民説明会が今年2月に開催された。市民合意ができていない中で、今議会に3億3千2百万円の予算が計上されている。「参加と協働」のまちづくりを進める小諸市だが、大型事業の進め方はこれで良いと考えるか。

市長

12月に公表したのは構想であり、その後市民にも情報公開し、市民説明会で意見を聞いている。「参加と協働」ということには反しないと思うが、用地の確保等、表に出せない部分もあり、この件はゼ口の段階からの市民参加はなじまないと判断した。

質問

市長が言っているオール小諸での取り組みとは、「参加と協働」の取り組みだと思う。この複合施設の構想は行政主導で進められ、市民からは突然出てきた構想と受け取られている。

地域の皆さんと一緒に作り上げてきた構想ではなかったと思う。「参加と協働」のまちづくりから

かけ離れたやり方ではないか。

総務部長

市民参加の手法には色々ある。今回の事業は、庁内の素案段階で市民説明会を行い、どういう意見が出て、市役所としてどういう考え方があるかをしっかり伝え、市民説明会の内容が市民に伝わる努力はしていきたいと考えているので、「参加と協働」から離れているとは思っていない。

質問

限られた財源の中で大型事業を進めるときは、市民が必要とする事業等の削減や先送りがあると思うが、影響はないのか。

市長

長期財政見通しの中で問題ないと思っている。



自治基本条例を考える意見交換会

個人質問



重要伝統的建造物群保存地区制度の導入を

小林一彦

昨年12月の定例会一般質問で、本町、市町地区を中心に旧北國街道沿いの町並みを保存・活用するために「重要伝統的建造物群保存地区」（以下「重伝建地区」）制度の導入を提言した。これに対して市長は、新旧の建物が混在していること等を理由に「本町の重伝建地区の決定については難しいのではないかと答弁があった。そこで本町に難しいのか、重伝建地区の先進事例を視察するとともに専門家の見解を伺ったところ、現在の本町の町並みの状態は重伝建地区に選定されるうえで何ら支障はないと確信を得たので、重伝建地区制度のメリットを示しながら改めて質問する。

質問

重伝建地区制度への取り組みについてどのようにお考えになるか。

市長

今、議員から国の補助制度等も含めてご説明があったが、やはり地域の皆様の思い、これが大きいと思う。これを行政だけでやって

しまうというのは、いささか乱暴なところもあるかと思うので、地域住民の皆さんの思い、また主体的な取り組みというのをしっかりと見させていただくということが、まず重要だと考える。

その上で、重伝建地区にはどういふ効果があって、またどのようなまちづくりにつなげていけるのか、そこら辺をしっかりと研究した上で、小諸市で導入、特にこの市町、本町の部分ですが、是非を検討してまいりたい。



伝統的建造物が数多く残る本町の町並み

個人質問



もっと、郊外の市民によりそった市政運営を

高橋 公

複合型施設の進め方については理解する。その上で質問する。

質問

佐久平駅アクセス道路の進捗は。

市長

三岡地区役員と意見交換し、佐久建設事務所に要望を伝えてある。今後、佐久市と協議を進めて行く。

質問

道路整備について、今後5年ぐらいは農村村部を優先してはどうか。

建設部長

各地域の状況も踏まえて柔軟に対応して行く。

質問

昭和30年の議会でも御影用水以外の用水の条例設置の希望が出されている。農村村部のために他の用水の管理条例設置を検討すべき。

市長

初めて聞いた。検討させて頂く。

質問

愛のりくんはどこでも乗降できるようにするべきだが、どうか。

また、現在のエリア分けにこだわらず、他のエリアとの併用等案

軟に運用してはどうか。

建設部長

「どこでも乗降」は非常に難しい。エリア分けなどの運営は、市民要望を聞いて改善を図っていく。

質問

学校再編前に郊外の子どものためにスクールバス無料化が必要だ。

教育長

今後、具体化していくと思う。

質問

郊外の4小学校のAEDは一年中外出し、また郊外のコンビニ8店にもAEDを設置するべき。

市長

前向きに、真剣に検討する。



コンビニ店内設置のAED (木曾郡大桑村)



市の総合計画第10次基本計画の進捗はどうか

丸山 正昭

健康長寿を目指してどのような事業を展開しているか。

質問

市長

市で策定を進めている「第3次小諸市健康づくり計画」においても、健診を受診して自分の健康状態を把握し、生活習慣病の発症や重症化を防ぐことを目標のひとつとしている。このため、健診を受診していただくための啓発として、「こもる健幸マイレージ事業」の実施、ウォーキングサークルとの連携による運動習慣の定着促進、健康づくりの情報提供を充実するとともに、個別的な保健指導を強化し、生活習慣の改善につなげることを盛り込み、市民の健康づくりを一層進めていく。

質問

「商店に人を呼びこむための工夫をする」とあるが、その進捗状況はどうか。

市長

ハード面では、駐車場の整備として病院や市庁舎、中心商店街を

訪れる皆様に利用いただけるよう、公共駐車場の整備をしてきた。

ソフト面では、懐古園の「桜まつり」「紅葉まつり」等懐古園を訪れる観光客の皆様を商店街へ誘客するため「懐古園入園券優待サービス事業」の実施や出店者もお客さんもみんなで楽しめる場として「小諸まちなかマルシェ」の開催、このほか「信州小諸ふどまつり」、歓迎イベント事業の実施等を行ってきた。

今後も関係団体と連携しながら、まちなかのにぎわい創出のため「商店に人を呼びこむための工夫」を行なっていきたいと考えている。





福祉業界が深刻 介護保険料が上昇!

早川 聖

質問

平成29年中に全国で29件の医療福祉事業所の倒産があった。介護保険法が施行された平成12年以降最多である。この状況下、平成30年度に診療報酬と介護報酬の同時改定がされる。高齢化社会の成長産業の医療・福祉業界では介護職員不足が深刻化し経営が難しくなり、業界内で淘汰をされる動きが加速しているがどう思うか。

市長

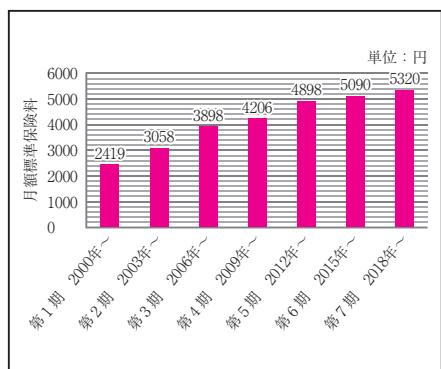
制度自体がはらんでいる問題や、介護等に係わる人材不足、報酬が安い等、様々な問題を抱えている。ますます高齢化が進んでいく中において大変な状況だと思っ

民生部長

今後、医療・介護の人材確保が難しい状況にある。一方で人材確保のためにサービスクラウドを上げると、保険料が増えるので、いい割合で充実させなければいけないと思っ

質問

介護保険(料)の改定には、市町村レベルで一定の修正や変更が



増え続ける小諸市の介護保険料

可能。国の方針に無批判に追随するのではなく、市民福祉の向上のため、制度改定に立ち向かってほしい。今後、急速に高齢化が進み、単身高齢者や老夫婦世帯が急増する。高齢者の生活を守るために、自治体が自らの手と目と地域と高齢者の生活実態をつかみ、本気で高齢者施策の充実・強化を考えてほしいがどうか。

民生部長

介護予防・日常生活支援総合事業・地域包括ケアシステムの推進の壁はたくさんある。関係の皆さんと連携し、より良い事業を展開していけるよう考えていく。



安心して暮らせるまちづくりとは

土屋利江

質問

児童・生徒のひきこもりの現状と対策についてはどうか。

教育長

学校では、欠席が続く児童・生徒の状況把握や情報共有など、関係機関と連携し対策を協議する場を設けている。2月から不登校対策研究会を新たに設置した。

質問

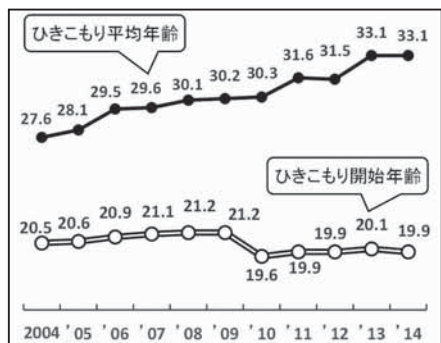
ひきこもり対策事業は、生活困窮者自立支援法に移行となり、任意事業の一つに位置づけられた。支援の充実を図る新たな取り組みとして、中高年層のひきこもり対策についてはどうか。

市長

ひきこもりの支援に関して保健師がかかわっている人数は25名で、ご家族から相談があったものが大多数である。近頃は、長期化したひきこもりの相談が初めて行政に繋がるケースが増えてきている。

質問

ひきこもりサポーター養成事業についてはどう思うか。



ひきこもり本人の年齢の推移 全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)調べ

民生部長

関係する部署も含めて研究したい。

質問

情報通報システムとは、市民と行政が協力し、道路の破損や不法投棄など地域の課題をスマホを使って解決、共有していくための仕組みだが、導入の考えはあるのか。

市長

情報システムの導入は、市民の皆様から広く情報をご提供いただけるというメリットがあるが、過剰な要求や職員の事務負担が増えるなど課題が多い。既に導入している自治体を参考に研究していく。

個人質問



財務4表を分析し、活用できる体制整備を!!

神津眞美子

質問

財政見通しで、財政の健全化を説明する際に示される財政指標が、基金残高と地方債残高、それに実質公債費比率で、これらの情報だけでは市の財政の全体が見えないと考える。債務に加えて、資産の状況も見ないと小諸市の財政全体の見通しとしては不十分と言わざるを得ないと思うがどうか。

総務部長

28年度決算からは財政見通しの中で、より現実的な事業費、あるいは決まった事業等を入れた中で、より現実に近い形で将来にわたって10年間の財政見通しを説明している。だんだんと精度を上げていくということ、今後も研究していきたい。

質問

国では公共施設等の老朽化による自治体財政への影響に対する危機意識から、財政マネジメント強化のために地方公会計改革を図ってきている。統一基準による財務書類4表を平成29年度までに作成



し、公表するとされているが、小諸市の取り組みはどうか。

財政課長

一番ネックになっていた固定資産台帳の整備がようやく完成した。公会計システムも導入し、その支援業務の成果も納品されたので、今議会の最終日の全協で報告し、公表したいと考えている。

意見

財務4表(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)をしっかりと分析できる体制を整備して、活用していけるように、先を見通した取り組みを期待する。



「小中学校再編案!」どうか?

竹内健一

質問

将来の小中学校再編については、千曲小を水明小にて統廃合し、坂の上小を野岸小にて統廃合する。その後、芦原中学校舎を増築して小学校4校を芦原中学校へ小中一貫校として再編してはどうか。

市長

長期財政見通しに1校分の建設費は盛り込んであり、答申が出てくれば教育環境の整備を実施する。

質問

平成の森マレットゴルフ場クラブハウスに窓の設置はできないか。

市長

31年度以降の事業として、優先順位をつけて実施していく。

質問

南城公園展望台コースが9ホールしかないため、50mプールを埋め立ててコースを増設できないか。

市長

公立保育園の整備充実に関する検討会で50mプールとその隣接地が保育園建設の候補地として挙げられているため、今後保育園建設

との整合を図り検討していく。

質問

公立保育園の整備充実に関する検討会の進捗状況はどうか。

市長

老朽化した芦原保育園と中央保育園のあり方について優先的に検討を進めている。

質問

谷地原地区以外の東南部地域の開発についてはどうか。

市長

国道141号沿いやグリーンロード沿いなど、住宅地に適している場所も多く、次に開発する場所の検討を進める。

芦原中学校区➡小中一貫校(再編案)

	芦原中学校区	東中学校区
小学校児童数 1~6年生	897人 4校統合児童数 千曲・水明・坂の上・野岸	987人 東・美南ガ丘小は当面、統合必要なし
中学校生徒数 1~3年生	448人	493人 統合しても依然東中学区の方が多
合計	1,345人	×

(小諸市長期学校改築計画検討会での2023年・6年後の試算より)



生活困窮者に寄り添った自立支援を

掛川 剛

質問

病気・事故・失業・離婚など様々な要因が複雑に絡み合っただけで生活困窮に陥り、そこから抜け出せないで苦しんでいる人が多くいる。自営業のある人は、売掛金の回収ができずに税金が払えなくなっ

てしまい、滞納整理機構から支払いを強く求められて日々の生活に苦しんでいる。生活を壊してまで無理な徴収をしている実態をどう思うか。

総務部長

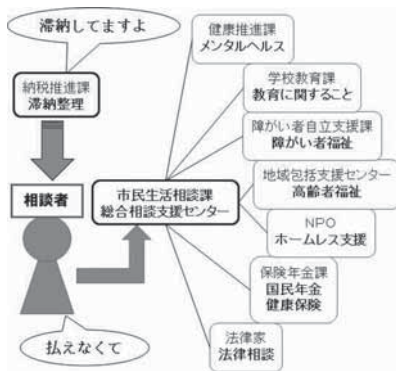
生活が立ち直ることが前提で滞納も徐々に解消していくものと思う。そのような納税相談をしないかなければいけない。

質問

滋賀県野洲市では滞納を生活困窮のシグナルと捉え、関係機関と連携し生活再建を優先して支援している。小諸市でもこのような仕組みの構築はできないものか。

市長

仕組みを作るかどうかは一つのやり方だとは思う。生活に困窮し



各課・専門家が連携して解決！

ている方をいかにアンテナ高く把握するかが一番の問題と思う。

野洲方式は研究するが、職員一人ひとりの意識を高めた上でやるべき対応をしていくことが一番重要と考える。

質問

野洲市では本当に生活に困って生活再建を優先せざるを得ない人に限り、税の徴収を放棄することを債権管理条例で定めている。小諸市でも同様に債権管理条例に入れることはできないか。

総務部長

税は公債権であり、時効前の債権放棄は極めて難しい。



市民への説明責任と将来の実効性を問う

中村 憲次

質問

市民への説明責任の基本姿勢としては、客観性、透明性、公平性が基本であるが、重要事業の複合型中心拠点誘導施設整備の周知のプロセスについてはどうか。

市長

説明責任の考えは同感で、今後は市内10地区で3月18日から4月下旬にかけて説明会を開催する予定。5月には基本計画の素案を公表してパブリックコメントを行い、市民の意見を反映したい。

質問

公共施設等総合管理計画では特殊な事情がある場合を除き、新規施設の整備は原則行わないとしているが、その点はどうか。

市長

これまで市民交流センターなど様々な人が集う拠点整備を行ってきたが、商業施設の確保は重要であり、高齢者福祉施設を含め、今回の施設整備は、小諸市にとって将来必要な施設と考えている。

質問

3月7日現在、(株)ツルヤとJA佐久浅間との具体的な交渉の取り決めはあるのか。また、覚書の位置づけはどうか。

総務部長

具体的な詰めはこれからで、覚書は紳士協定であり、記載した内容に沿って信頼関係を進める。

質問

(株)ツルヤが自力で再開店し、駐車場の整備支援を小諸市が行うという市民の提案があるがどうか。

市長

提案は理解できるが、建設費については、(株)ツルヤからテナント料としていただく計画である。



小諸市高齢者福祉センター 糠塚園

市民の声を実現させるための

提言に対する回答

議会では、昨年10月に

議会と語る会で市民の皆様からいただいた声をまとめた提言書を市長に提出し、3月定例会の中でこの提言に関する検討結果や進捗状況の報告を受けました。その内容をお知らせします。

防災対策

提言 新興住宅地への消火栓の増設

回答 2基増設する予定である。

提言 ささえあいマップ更新の支援

回答 作成及び更新の支援作業は小諸市社会福祉協議会で担っている。市では人件費の補助金を計上し、障がい者等支援者の情報提供を適切に

行っていく。

提言 自主防災組織の立ち上げ支援・定期的な防災訓練実施の呼びかけと支援・各区への防災倉庫設置の推進・安全な避難場所の確保

回答 平成30年度の目標を、「市内全区での自主防災組織の設立・運営の支援、防災講演会等の開催により、自助、共助による地域防災力向上を図る」「避難所開設に必要な防災対策用品の備蓄を進める」とし推進する。

提言 AED設置場所の拡充

回答 地域での設置拡充のために「安全で安心なまちづくり事業補助金」を活用いただきたい。

提言 情報伝達手段の検討

回答 「防災会議専門委員会」を立ち上げ防災行政無線に限らず情報提供ができる手段を検討するための予算を計上した。

提言 防災士の組織強化と技能向上

回答 地区ごとの情報交換等防災士間の連携を深め、少し時間をかけて丁寧な組織化を進めていきたい。

提言 家庭用防災マニュアルが活用されるよう周知に工夫を

回答 ごみカレンダーの平成31年度版に「家庭用防災マニュアル」の概要版を掲載予定である。

提言 大型緊急車両の入れない地域の把握と道路拡幅の検討

回答 古くから形成された市内全域の幅員4m未満の道路の拡幅は困難

である。各区からいただいた改良要望箇所は、優先順位により対応している。

空家対策

提言 空家に関する啓発活動

回答 固定資産税等の通知に啓発文書を同封することは困難である。

現在は、実態把握調査により空家と想定される建物所有者に利用状況確認アンケート・空家対策説明書を送付し周知を図っている。

提言 空家に関する相談業務の充実

回答 年に数回、「長野県司法書士会」や「宅地建物取引業協会」の専門家による無料の相談会を設けている。

・日常の管理は「シルバ

一人材センター」
・解体等除却に向けた相談については「小諸市建設協議会」
・相続等の相談については「長野県司法書士会」
・リフォームや既存住宅の状況調査等の相談については「長野県建築士会 佐久支部」
それぞれ協定を締結した。

このほか、「小諸市不動産協会」や「小諸市消防団」の皆様にも協力いただき、相談窓口として紹介できる体制になっている。

提言 地域で積極的な対応ができるよう、空家になることを市から区へ知らせる仕組みづくり

回答 空家の情報は、個人情報であるため、難しい。

提言 研究し方向性を示すべきこと

(1)相続放棄された物件を

引き取り活用する公的機関

回答 相続放棄に関しては、不動産のほか、債権等も含まれるため、活用できる公的機関はない。今後、このような案件について国の動きを注視していきたい。

(2)空家リフォームへの補助金

回答 商工観光課で「空き家バンク登録物件」に対し、補助金制度を設けている。

(3)空家撤去費用への補助金

回答 空家の撤去は本来所有者の責任で実施するものなので、補助金を交付することについては、他の自治体の状況も参考とし、慎重に検討したい。



ぼいす

第4回

「キラキラ小諸人」 「信州こども食堂in こもろ」のみなさん

今回は、「信州こども食堂inこもろ」の皆さんをお訪ねしました。

信州こども食堂inこもろ（以下、こども食堂）は、平成28年2月に長野県内で2番目にスタートし、主に相生会館で月1回土曜日の昼に実施しています。

Q1 献立では、何か工夫をしていますか。

「何を作ろうか」ではなく「子どもたちがお手伝いできる料理はないか」をメインに考えています。

Q2 食事の提供以外の目的はありますか。

子どもたちやお母さんたちの、小さなつぶや

き」に気づける場所になることです。

Q3 他の活動についても教えてください。

高校生による学習支援も小諸図書館で隔週火曜日の夕方にやっています。小中学生にとって高校生はお兄さんお姉さん。雰囲気は最高ですよ。

Q4 スタッフとして参加して感じたことは。

こども食堂の趣旨からすると参加者が固定してしまうなど課題が多いと感じますが、やってみるととてもやりがいがあり深い意味のある活動だと感じています。

Q5 今後の展望や期待することは。

こども食堂は、子どもたちが歩いていける場所各小学校区に欲しいです。



女性スタッフ勢ぞろい（3月）

私たちのグループが大きくなるのではなく、各地域で新たなこども食堂が立ち上がることを期待しています。

☆「こども食堂」は、誰でも参加できる「子ども居場所」です。そして住んでいる地域や年齢も関係ありません。高齢者の方も大歓迎です。

皆さん、ぜひ一度、こども食堂をのぞいてみてはいかがでしょうか。

傍聴席



一ツ谷 山口與市 さん

今回初めて傍聴させていただきました。今までの議会の一般質問は時々テレビでは見ておりましたが、今回は、私が最近特に関心をもっている国民健康保険制度と、介護保

険制度の制度改正に関わる質問をされる議員さんがおられるとのことで、質疑の内容を直接聞きたいと思いと二人で傍聴席に足を運んだ次第です。私の関心事である国民健康保険、介護保険の改正については、国保の財政見通しや介護保険料の引き上げに関して、具体的な数値を含め説明があり、ある程度理解する事ができました。もう一つ質疑を通じて改めて感じた事は、現行の介護保険制度の抱える根本的な問題です。医療保険はいつでも必要な時に使う事ができるのに対し、介護保険は保険料は納めていても要介護状態になった時、保険を使わずに自由にサービスを利用できないという事です。利用時の自己負担割合も徐々に引き上げられる状況の中で「将来介護が必要になった時、本当に保険サービスを利用できるだろうか」などと妻と話しながら帰宅しました。

編集後記

長い冬が過ぎ、麗らかな春を迎えました。3月は「別れ」の季節と言われますが、同時に新たな出発に向かって心の準備をする季節です。この議会だよりがお手元に届く頃は、新年度が始まり、真新しいランドセルの一年生や就職などで新生活を始めた方の姿が見られる「出会い」の季節です。そして春の遅い小諸でも桜や桃の花が咲き気持ちも明るくなります。3月議会では、主に平成30年度予算の審査を行いました。市民の

皆様は税金により日常生活が向上することを期待されていることと、思います。そのような視点のもと、事業ごとに内容や効果等を議会の立場で審査しました。数字や専門用語もあり興味を持たれないページもあると思いますが、皆様が納めた税金がどのように使われるのか、各議員の質問内容を確認していただければ幸いです。今後も皆様に読まれる議会だよりを目指します。ご意見、ご感想等をお寄せください。（喜）